

岩盤工学会研究会講演会

— 岩盤工学における最近のリモートセンシング技術の適用と今後の期待 —

主催：岩盤工学会

(財)建設工学研究所内

電話：(078) 851-1850

E-mail：office@kensetsuk.or.jp

日時 平成21年10月21日(水) 9:30~16:50

会場 航空会館 5階

(東京都港区新橋1-18-1) TEL:(03)3501-1272

交通 JR「新橋」駅/地下鉄都営三田線「内幸町」駅 下車

参加料 10,000円(会員 9,000円/学生 2,000円)

【講演会】

プログラム

司 会

岩盤工学会 運営委員長

近久 博志

9:30 開会挨拶

会長

櫻井 春輔

9:40~10:00

本講演会開催の主旨・状況説明

近久 博志

(1) 10:00~11:05

最新リモートセンシングによる広域地盤変動モニタリングについて

東京大学工学系研究科

六川 修一

(2) 11:05~12:10

岩盤工学における諸問題に対する衛星リモートセンシングの利用可能性について

財団法人 リモート・センシング技術センター

古田 竜一

— 昼食休憩 60分 —

(3) 13:10~14:15

干渉 SAR 解析の土木構造物への適用:

新潟県中越地震に伴う山岳トンネル被害メカニズムの解明

京都大学大学院工学研究科

辻 健

(4) 14:15~15:20

干渉合成開口レーダーを用いた地殻変動の検出

国土交通省国土地理院

雨貝 知美

— 休憩 10分 —

(5) 15:30~16:35

資源探査・開発・生産に伴う地盤変動監視技術等衛星リモートセンシングの利用について

財団法人 資源・環境観測解析センター

加藤 雅胤

16:35

閉会挨拶

岩盤工学会 副会長

菊地 宏吉

【懇親会】: 17:00~(会費制) 於 航空会館8階「スエヒロ」電話:(03)3502-3855